

令和5年度総合隣保館事業実施状況

1 総合隣保館運営委員会

回	開催日	審議内容	出席人数
1	6月26日	(1) 委員長、副委員長の選出について (2) 令和4年度総合隣保館事業実施状況について (3) 令和4年度総合隣保館利用状況について (4) 令和4年度総合隣保館事業における成果と課題 (5) 令和5年度総合隣保館運営方針（案）について (6) 令和5年度総合隣保館事業計画（案）について (7) その他	10人
2	3月12日	(1) 令和5年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和5年度総合隣保館利用状況について (3) 令和5年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和6年度総合隣保館運営方針（案）について (5) 令和6年度総合隣保館事業計画（案）について (6) その他	人

2 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内容	人権相談の内訳（20件）		
隣保館職員	・人権相談	20件	・同和問題	件
	・福祉相談	0件	・女性	件
	・教育相談	0件	・高齢者	件
	・職業相談	0件	・子ども	件
	・生活相談	0件	・外国人	件
	・その他相談	0件	・生活	18件
	小計	20件	・障がい者	2件
商工会議所派遣職員	・経営相談	17件	・その他	件
	・税務相談	68件		
	・金融相談	3件		
	・労働相談	0件		
	・経理相談	11件		
	・その他相談	0件		
	小計	99件		
計	119件			

3 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、地区（集会所）において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
陶芸教室（吉田） （講師） 倉田優子	可愛いパン皿を作ろう（9月30日（土））	1回	10人

4 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

(1) 啓発活動事業

ア 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題解決のために必要な知識を得る研修の場として例年同様6月に3回実施した。

開催日	講師	参加人数
6月9日（金） 18:30～20:00 教育センター	「部落差別解消過程の現段階と問題克服への課題」 ～解放令発布150年・水平社創立100年の地平からの考察～ 部落解放論研究会 代表 谷元 昭信さん	105人
6月16日（金） 18:30～20:00 青山公民館	「爺さんの独り言」 ～これからの人権教育を考えるために～ 元小学校長 島田 恒夫さん	88人
6月23日（金） 18:30～20:00 教育センター	「三木の部落解放運動50年の歩み」 橋田 好正さん	99人

イ 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が想いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

実施日	発表者	参加人数
10月17日（火） 18:30～ 総合隣保館	作文朗読「色覚異常はおもしろい」 平田小学校5年 竹下征吾さん 「絆カフェ『カリヨン』の活動を通して」 関西国際大学 絆カフェ「カリヨン」副店長 木村優海さん、吉留翼さん、橋爪愛翔さん 「みんなで行きたい『スマイル学級』」 三木市立吉川小学校 主幹教諭 永松郷子さん 「どんな私でも大丈夫」 なおみ助産院 院長 寺尾直美さん	79人

10月20日(金) 18:30～ 吉川町公民館	作文朗読「二歳の妹に教えてもらったこと」 三木中学校3年 三宅和音さん 「子ども大人も幸せであるために」 別所認定こども園 園長 藤本恵美さん 「子どもから教えてもらった様々な事」 里親として母として10人の子どもを育て、現在11人目のお母さん 猶原恵理さん 「息子との出逢いと別れ」 三木市議会議員 大西秀樹さん	86人
10月24日(火) 18:30～ 総合隣保館	作文朗読「すぐ行動」 別所小学校6年 前田采音さん 「人権教育、同和教育についておもう」 浦佑里佳さん 「私が日本社会から受け取ったもの 私が返していくもの」 ～外国籍の両親の子どもとして育て～ 三木市国際交流協会 会員 バレンスエラ エドさん 「不登校の子供達が教えてくれたこと」 S-BASE 代表 清水ひとみさん	72人
計		237人

ウ 文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施する。本年度は、感染症対策を講じながら総合隣保館で開催した。

・記念講演

『ネガティブは駄目、ポジティブでいこう』

～人権・同和教育メッセージを少し変えるために～

解放社会学研究所 所長 江嶋修作さん

エ 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

視察研修会

開催日	行き先	出席人数
10月7日(土) 8:15～16:15	・長島愛生園 *説明 ハンセン病及び園について詳しく説明を受け学習し、展示を見学した。 *フィールドワーク 説明を受けながら島の史跡めぐりを行った	27人

フィールドワーク

開催日	行き先	出席人数
1月27日(土) 8:00~17:35	<ul style="list-style-type: none"> ・ウトロ平和祈念館 戦後、日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人のまちで様々な困難や差別に立ち向かってこられた人々の歴史や思いが詰まった資料館とその周辺において、人権学習を深めた。 ・清水寺周辺人権史跡 ガイドの説明により、阿豆流為（あてるい）・母禮（もれ）の碑をはじめとする人権史跡を巡りながら学習を行った。 	43人

オ 図書の充実と利用

- (ア) 貸出冊数 50冊
- (イ) 貸出人数 26人
- (ウ) 購入冊数 28冊（一般 0冊、子ども 28冊）

(2) 広報活動事業

ア 隣保館だよりの発行

- (ア) 発行部数 毎月発行 4,750部
- (イ) 配付先 市内全自治会（回覧）、公共施設、各支部等

イ 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- (ア) 発行部数 950部（年1回）
- (イ) 配付先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。今年度新たにエアロビクス講座を開始した。

(1) 教養文化講座

	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸サークル	19回	61人		月2回
2	茶道教室	19回	64人	杉本 さわゑ	月2回
3	書を楽しむきらきら書道教室	11回	120人	藤原 常貴	月1回
4	エアロビクス講座	12回	136人	寺坂 恵美子	月2回
5	スマートフォン体験講座（予定）	1回		スマートフォンアドバイザー	3月19日予定
	計	62回	381人		

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容・講師	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月28日(木) 17:30～19:30	テーマ「新春を生ける」 (講師)田中 真紀	10人
	2月22日(木) 18:30～20:30	テーマ「おひなさま」 (講師)田中 真紀	10人
計			20人

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

ア 夏休み子ども教室

7月31日～8月25日(10日間)

教室名	実施回数	延べ参加人数	備考
夏休み子ども教室	10回	80人	

イ 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	17回	85人	館職員	主に第2・4土曜日
交流ハイキング(予定)	1回	10人	館職員	3月26日(火)
計	18回	95人		

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人々が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、4年ぶりに記念講演を含め、すべての行事を総合隣保館で実施した。

開催日	実施内容	出席人数
12月10日(日) 12:30～15:30 総合隣保館	開会行事 RASH(ダンス) 舞台発表 大空学級(詩吟) ねえにいや(沖縄の歌) テアトロ三木&杉の子学級(人権劇) 記念講演 「ネガティブは駄目、ポジティブでいこう ～人権・同和教育メッセージを少し変えるために～」	191人

	解放社会学研究所 所長 江嶋 修作 さん 抽選会 受付で抽選番号を渡し、抽選箱から番号を取り出し抽選 1等～4等 バザー 生活介護じゃがいもの家 物品販売 大空学級 花の苗の販売	
12月9日(土) 13:30～15:00 総合隣保館	子どもたち全員集合 ゲーム(輪投げ、シャトルダーツ、ボッチャ じんけんカードめくり)	10人
12月6日(水)～ 12月10日(日) 9:00～21:00 (10日9:00～15:30) 総合隣保館	・隣保館関係団体等による作品展示	180人

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、1月～2月に実施した。実施状況等は別紙のとおり(別紙は当日にお渡しします。)

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を作成中。

8 その他

隣保館高圧ケーブル更新工事

引込柱～キュービクルへの高圧ケーブルの更新

令和5年9月15日～10月31日

工事費 957,000円

令和5年度 総合隣保館利用状況 (令和6年2月29日現在) 【回数(回)、人数(人)】

月	主催事業				志染保育所				その他				合計			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	回数	人数	回数	人数												
4月	8	98	8	72	7	280	8	400	17	262	22	327	32	640	38	799
5月	12	137	8	72	10	392	4	110	17	246	14	185	39	775	26	367
6月	23	236	8	124	7	326	21	1,091	17	244	21	397	47	806	50	1,612
7月	11	99	5	60	4	360	19	428	33	520	21	446	48	979	45	934
8月	18	250	9	112	15	670	10	254	20	281	17	246	53	1,201	36	612
9月	12	167	8	75	17	1,385	21	1,425	26	330	26	396	55	1,882	55	1,896
10月	17	285	17	305	8	441	6	346	20	317	27	401	45	1,043	50	1,052
11月	34	296	15	167	26	1,054	16	636	37	586	28	450	97	1,936	59	1,253
12月	9	100	5	35	21	1,329	32	1,494	17	345	18	254	47	1,774	55	1,783
1月	10	98	8	70	20	829	26	630	25	377	16	241	55	1,304	50	941
2月	12	97	15	113	35	1,550	31	2,050	31	492	26	509	78	2,139	72	2,672
3月			12	111			18	770			17	410			47	1,291
合計	166	1,863	118	1,316	170	8,616	212	9,634	260	4,000	253	4,262	596	14,479	583	15,212

主催事業・・・相談事業、隣保館運営委員会、人権フォーラム、文化祭、教養文化講座等
 教育事業（研修会、企画運営委員会等）、人権教育指導員研修会、啓発資料作成委員会

その他・・・貸館事業（各種会議、空手、ダンス等）

令和5年度総合隣保館事業の成果と課題

1 総合隣保館運営委員会

○成果

会議で活発な意見交換を行うことができ、意見に基づき、文化祭の記念講演を4年ぶりに総合隣保館で開催し、同和教育セミナーにおいても青山公民館で開催するなど、場所等を工夫して展開することができた。

●課題

少子高齢化が進む中、魅力ある隣保館づくりに取り組む上で引き続き運営委員会での活発な意見交換が欠かせないと考える。また、運営委員会開催時期をできるだけ固定化すべきではないか。

2 相談事業

○成果

相談者の多くのニーズに応えることができ、「わかっていただいているありがたい。相談してよかった」等の言葉をいただいている。相談者は満足されている様子が伺えた。

●課題

多様化する人権相談に対応するために相談員のスキルを高めることが必要。隣保事業士の研修を積極的に受けるとともに課内人権研修に力をいれて相談体制のさらなる充実を図る。館職員と来館者が交流を深め、困った時には、いつでも気軽に相談ができるような雰囲気づくりを心がけることが重要である。人権相談を利用したい方が利用できなていない可能性があることから、広く周知するように努める。

3 地域福祉事業

○成果

生活のさらなる向上及び福祉の推進のための事業を一部地域で実施することができた。

●課題

地域の高齢化や少子化に伴い地域福祉事業が実施できていない地域もある。そのため、地元と協議し、地域交流や世代間交流も考えながら、来年度に向けて事業をどう進めるかを検討する必要がある。

4 啓発広報活動事業

○成果

同和教育をはじめあらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決をめざして同和教育セミナー、人権フォーラム等を開催した。毎回、多くの参加者があり、感想も、とても心に響いた、人権の大切さをあらためて学べた、フォーラムの発表者に対して敬意を覚えた、これからも学び続けたい等ほとんどが前向きな意見であった。

文化祭は、記念講演も含めてコロナ前のように総合隣保館で開催する

ことができた。今年度はバザーも一部復活し、講演会終了後の抽選会も盛りあがった。

視察研修（フィールドワーク）は、人権問題にかかわる現地に赴くことにより、より鮮明に差別の歴史や実態等を身近に感じ学習できたと思われ、学びを深めるよい機会となった。

隣保館だより等の記事に反響があり、市民から感想が寄せられるなど啓発の効果があらわれている。また、情報誌としての役割も果たしている。

●課題

引き続き、市民を巻き込みながら、同和教育セミナー、人権フォーラム、文化祭記念講演会等の学びの場の提供を積極的に行い、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化を図る必要がある。

5 教養文化及びその他に関する事業

○成果

地域住民のつながりを創出することができている。子ども教室は、さまざまな体験をとおして、交流による仲間づくりができた。今年度は「エアロビクス」が定期講座となり、また、3月19日には「スマートフォン体験講座」を実施する予定である。

●課題

少子高齢化により、主催講座の講師高齢化及び参加者が減少傾向となっている。今後、さらに新たな講座の企画、人材の確保等、検討が必要である。

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

○成果

本年度は、感染症対策を講じ高齢者世帯への訪問を行った。関係機関と連携を図りながら実施し、生活状況等の把握に努めた。

●課題

感染症対策を講じながら、今後も引き続き訪問活動を実施していき、ニーズの把握に努めていくことが大切である

7 所蔵図書の整理について

○成果

隣保館の人権関係の図書は充実しているが、多くの来館者の希望に沿えるよう、毎年中央図書館より図書（一般書、絵本等）を借用し、閲覧、貸出できるようにしている。また、夏休みの課題図書を購入し貸出を行うので、子どもの利用促進にもつながっている。

館で所蔵している図書のデータベース化作業が完了している。

●課題

データベース化の完了に伴い、コンピューターでの本の検索や管理を行うシステムを試作している途中である。

8 まとめ

本年度は感染症対策を講じながら、やむをえず飲食等の提供は自粛したが、4年ぶりに文化祭にかかるすべての行事を総合隣保館で開催することができた。

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に関する誹謗中傷や差別に対して、決して、同調や傍観するのではなく、許さないと、差別に立ち向かう正しい力を身につけるために、引き続き、市民を巻き込みながら、人権を守るために積極的な情報発信が重要である。

令和6年度総合隣保館運営方針（案）

総合隣保館の運営は、厚生労働省の隣保館設置運営要綱及び「部落差別の解消の推進に関する法律」「三木市人権尊重のまちづくり条例」「三木市人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査」及び総合隣保館活性化構想に基づき、以下の方針で事業を推進する。

- 1 我が国固有の人権問題である同和問題を基軸として、女性、高齢者、障がい者、子ども、外国人、LGBTQなどさまざまな人権問題に取り組み、人権や社会福祉制度に関する幅広い知識の習得や情報の収集・発信を積極的に行う。
- 2 「人権尊重のまちづくり」の視点から、地域における人権の課題、生活上の課題を解決するための取組を推進する。
- 3 あらゆる差別解消への展望に立った啓発に向けて隣保館運営委員会をはじめ各関係機関と連携して推進する。
- 4 「部落差別の解消の推進に関する法律」について
 - (1) 第4条（相談体制の充実）の趣旨を踏まえ、総合隣保館の主事業である相談事業を人権、福祉、保健、経営、職業等生活全般にわたり更なる充実を図る。
 - (2) 総合隣保館の設置の趣旨を踏まえて、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化・充実を図る。
- 5 社会調査研究については、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施し、実情を把握したうえで、関係機関と調整を図りながら、生活の改善を図る。
- 6 地域住民の参加に支えられた人権にかかわるコミュニティーセンターとして、地域活動を推進するとともに、地域住民の交流活動を促進する。
- 7 誰もが取り残されない、すべての住民が健康で文化的な生活を送ることができるように、社会的包摂の視点を持ち、人権と福祉のまちづくりをめざす。
- 8 コロナ禍以前の日常にほぼ戻っていると考え、より一層、人権を守るために積極的な啓発及び周知を図る。

令和6年度総合隣保館事業計画（案）

1 総合隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催する。

回	開催日	内 容
1	5月下旬	・令和5年度事業実施結果について ・令和6年度事業計画について
2	7、8月上旬	・上期の事業実施状況について ・第41回総合隣保館文化祭について
3	3月	・令和6年度事業実施状況について ・令和7年度事業計画(案)について

2 相談事業

地域住民に対し生活上の相談に応じるとともに、適切な指導助言を行う。

相談名	相談日	時 間
人権相談	随時	8時30分～17時
経営相談	毎週火・金曜日	10時～16時
職業相談	随時	8時30分～17時
教育相談	〃	〃
生活相談	〃	〃
その他	〃	〃

3 地域福祉事業

地区住民の課題を把握し、地区住民の福祉の増進、生活の向上を図る取組を推進する。

4 啓発・広報活動事業

あらゆる人権問題の解決をとおして、お互いの人権を尊重し合える社会の実現に向けて以下の啓発・広報活動を実施する。

(1) 啓発活動

ア 同和教育セミナー

6月14日（金）18:30～20:00 教育センター

6月21日（金）18:30～20:00 青山公民館

6月28日（金）18:30～20:00 吉川町公民館

講師候補者

1 らいとぴあ21（箕面市萱野中央人権文化センター）

埋橋 美帆さん

2 にじいろ i-Ru 田中一步さん、近藤 孝子さん

3 関西大学非常勤講師 細田 勉さん

イ 人権フォーラム

人権問題の解決を自らの生き方に密着したものであるとの認識に立ち自主的に研修する市民の集いとして実施する。

意見発表

- 10月15日(火) 18:30~20:00 総合隣保館
10月18日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館
10月22日(火) 18:30~20:00 総合隣保館
内 容 1回に3人~4人の発表

ウ 文化祭記念講演会

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題を感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として、文化祭において実施する。

記念講演会

- 期 日 令和6年12月8日(日)
講 師 未定

エ 館外視察研修・フィールドワーク

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く機会として実施する。

① 館外視察研修(案)

- 期 日 令和6年9月または10月予定
場 所 堺市立人権ふれあいセンター(舩松人権歴史館)

② フィールドワーク

- 期 日 令和7年2、3月中旬予定
場 所

(2) 広報活動

隣保館だよりの発行

発行部数 毎月4,750部

配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図る。

(1) 教養文化講座

NO	教室名	講 師	開催曜日	時間帯
1	手芸サークル		毎月第2・4木曜日	13:30~
2	茶道教室	杉本さわゑ	不定期	不定期
3	きらきら書道	藤原常貴	毎月第1土曜日	13:00~
4	エアロビクス講座	寺坂恵美子	毎月第2、4月曜	14:30~

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

フラワーアレンジメント教室（年3回予定）

期 日 令和6年10月、12月、7年2月

場 所 総合隣保館

その他 スマホ体験講座の2回目、転倒骨折予防教室（介護保険課）
資産形成セミナー等

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施する。

① 夏休み子ども教室

夏休みの期間中、園児及び児童（小学生）を中心に、夏休み中の生活をリズムカルに楽しく、充実したものにする。

② 土曜子ども教室

ものづくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培う。

③ 子ども教室ハイキング

子ども教室に参加している子どもたちの仲間づくりを図る。

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催する。

開催にあたっては、運営委員会で内容を立案し、実行委員会で協議する。

期 日 令和6年12月7日（土）・8日（日）（未定）

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯等への訪問・面談を実施する。

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書資料についてデータベース化し、検索を容易にする。現在、検索方法について試作品を研究している。